

ハスモンヨトウ

【学名：*Spodoptera litura*】



写真1 卵



写真2 若齢幼虫



写真3 中齢と老熟幼虫

【被害と発生生態】

- ・被害作物…数多くの野菜類，花き類，作物など，幅広く発生が見られます。
- ・被害…ふ化したばかりの若齢幼虫は，葉の表皮だけを残して食害します。中齢より大きくなると，分散し，葉脈を残して暴食します。
- ・発生生態…8月以降に発生が増え，年間に4～6回，幼虫の発生が見られます。



写真4 トラップに誘殺された雄成虫

【見分け方】

- ・卵は50～200個の卵塊で，鱗毛に覆われています（図1）。葉裏に産み付けられることが多い傾向があります。
- ・若齢幼虫は集団で食害します（図2）。中齢・老齢になると，分散します。老齢幼虫は，体長約4cm程度になります。
- ・頭の少し後半部分に，1対の黒斑紋があるのが特徴です（図3）。

【対策】

- ・老齢になると，特に薬剤が効きにくくなるため，若齢幼虫のうちに薬剤散布を行ってください。
- ・薬剤抵抗性が確認されているため，異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。
- ・発生の時期を判断するために，フェロモントラップ情報を活用してください。若齢幼虫の発生時期（防除適期）は，フェロモントラップへの雄成虫（写真4）誘殺ピークの7～10日後が目安です。